

# 令和7年度の主な事業

## 1. 八町大路の復興に向けた取組

- 空き店舗活用支援事業補助金…263万円  
(八町大路火災による被災店舗の出店に要する初期費用を助成)

## 2. 子育てしやすく、働きやすいまちづくり

～このまちで育つ子どもたちが、夢と希望が描けるように～

- 学校給食費無償化事業…1億689万円  
(臼杵市立の小中学校給食費を無償化)
- 副食費給付事業…870万円  
(幼児教育・保育課程における副食費に対する助成 1人1,800円/月)
- 臼杵市民球場(フジジンの杜スタジアム)大規模改修事業…2億9,832万円  
(スコアボードおよび施設内設備の改修)



## 3. 臼杵の地域資源の魅力発信

～第一産業や地場企業の基盤を強化し、食文化創造都市を市民みんなで確立させ、日本中・世界中に情報発信～

- 臼杵食文化創造都市推進事業…2,342万円  
(食文化や創造都市などに対する市民の理解と活動への参画、国内外との交流・連携)
- デジタルコンテンツ制作事業…1,924万円  
(臼杵城跡の歴史的価値などの紹介映像や江戸時代の様子を再現するVRを作成)
- 臼杵磨崖仏国宝指定30周年記念事業…704万円  
(国宝指定30周年を記念し、実行委員会が行う各種事業に対する助成)

## 4. 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち

～臼杵独自の医療・介護の安心できる仕組みを構築し、防災基盤などを含めた持続可能性の確保～

- 定住促進対策宅地造成事業…1億1,700万円  
(野津中周辺の公有地について、宅地造成)
- 定住促進事業補助金…6,254万円  
(転入者や若年・子育て世帯などへの各種助成)
- 地域コミュニティ活動創造事業…1,260万円  
(地域振興協議会への活動補助)



## 5. その他主要事業

- 新環境センター建設事業費負担金…3億2,440万円  
(大分市に建設される新環境センター整備負担金)
- 標準化システム導入事業…2億9,885万円  
(国の標準システム化に伴う業務委託など)

**■令和7年度 予算編成方針**

令和7年度当初予算は、本市にとって重要な課題である人口減少に対応するため、重点的な3つの施策を進める初年度の予算として、スピード感を持って積極的な予算編成を行いました。

- 1 八町大路の復興に向けた取組
- 2 子育てしやすく、働きやすいまちづくりの取組
- 3 臼杵の地域資源の魅力発信の取組
- 4 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの取組
- 5 その他

(活気ある市役所づくりの取組、地域の皆さんの声を聞く取組)

これら方針と諸施策に基づき、令和7年度の予算編成を行った結果、令和7年度一般会計予算の歳入歳出総額は235億1,834万円、前年度と比較しますと11億4,743万4千円(5.1%増)となり、過去最大の規模となりました。

令和7年度は、引き続き物価の動向を注視しつつ、現在策定中の「臼杵市総合計画」と「総合戦略」に掲げたまちづくりの実現に向け、積極的に取り組みます。

# 令和7年度 当初予算

リ・スタートうすき～20年の歩みから、新たな次の未来へ～

臼杵市は、豊かな自然や文化、そして温かな人々に恵まれたまちです。この素晴らしい基盤を大切に守りながら、次の世代にも誇れるまちをつくるため、今こそ新たな挑戦を進めるときです。

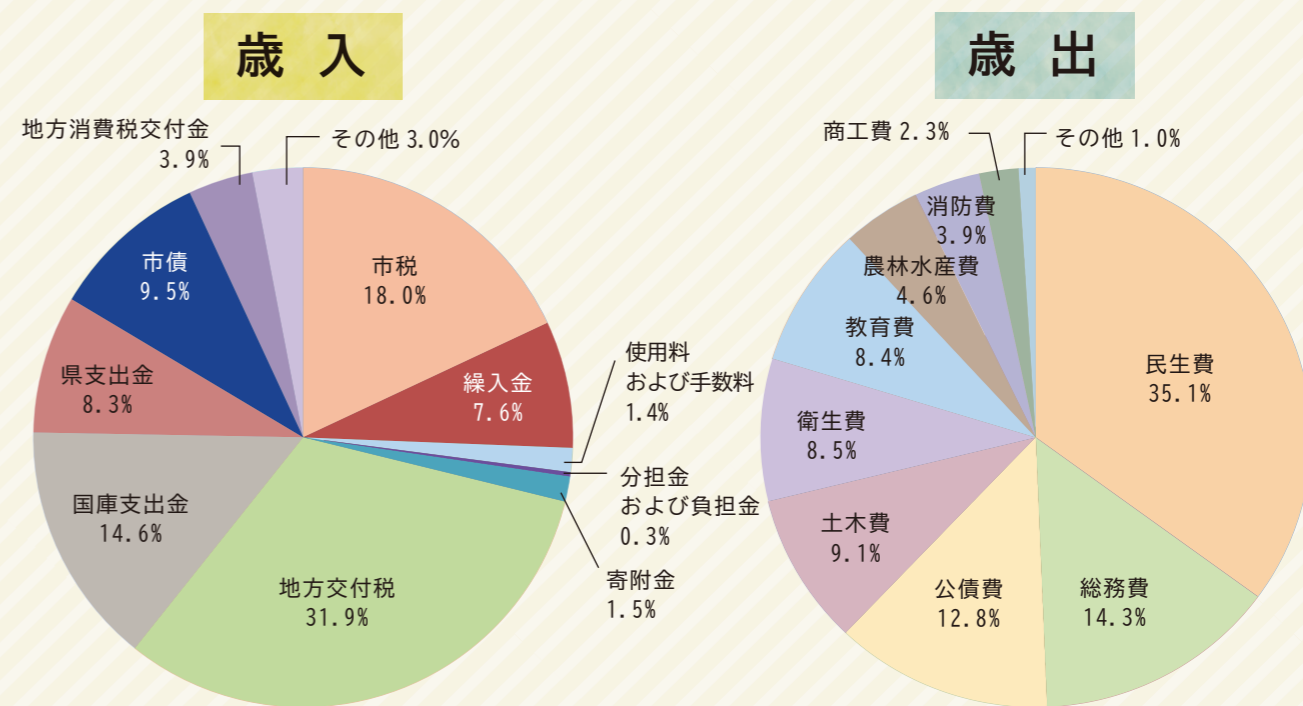
その想いを込め「リ・スタートうすき」をスローガンに掲げ、これまで培ってきた歴史・伝統・文化を土台に市民のみなさんと共に未来に向け新たな一歩を踏み出します。

臼杵市は少子高齢化や人口減少という大きな課題に直面しており、この20年間で人口は、1万人以上減少し今後もその傾向が続くことが予想されています。

このような現実を真摯に受け止め、10年後さらにその先を見据え持続可能な臼杵市を実現するために次の3つの柱を中心に各種事業に取り組みます。

～西岡市長がめざす3つの柱～

- 1 子育てしやすく、働きやすいまちづくり
- 2 臼杵の地域資源の魅力発信
- 3 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち



## 予算総額 235億1,834万円

### 令和7年度特別会計予算

(単位: 万円)

事業名	予算額	事業名	予算額
下水道事業会計	220,315	水道事業会計	139,386
公共下水道事業	187,246	国民健康保険特別会計	496,719
特定環境保全公共下水道事業	19,234	介護保険特別会計	526,400
漁業集落排水事業	1,229	後期高齢者医療特別会計	89,286
農業集落排水事業	11,616		
浄化槽管理事業	990		